

日本食看護研究会



Japanese Society of Nursing and Human Nutrition

日本食看護研究会は、食生活の質、生きる力、豊かな生活、QOLの向上のために、人の食に関連した保健・医療・福祉の領域における実践と研究、知識の普及、情報の発信を行い、もって「よりよく生きる」ことを支えることに寄与することを設立の目的とし、2015年3月8日に発足しました。

日本食看護研究会理事長 尾岸 恵三子

日本食看護研究会 第3回研究会のご案内(第3報)

人間が生きることを支える食の本質を追求することは、本来人間が持っている生きる力と豊かな生活を営む力を発揮できることに寄与することでもある。本研究会は、「**自然と人間の関係から食生活を考える**」をテーマに展開する。また、これらの学びを通してより良い技の確立に向け研究を進める**実践教室を開設**します。

日時:2017年3月18日(土)10時~17時

場所:東京女子医科大学看護学部 第1校舎

プログラムⅠ 講演

ナイチンゲール看護論における自然と人間の関係

大会長 守屋治代 東京女子医科大学看護学部教授

食と人類生態学

講師 夏原和美 日本赤十字秋田看護大学教授

プログラムⅡ 特別講演

人間にとって食とは何か アントロポソフィー医学の観点から

講師 堀 雅明 ほりクリニック院長 アントロポソフィー医学医師

江崎 桂子 ほりクリニック治療教育家 アントロポソフィー医薬品管理責任者

プログラムⅢ 一般発表

実践報告・研究発表 (発表は示説のみとします。)

プログラムⅣ 実践教室 (講演の後に行います。50名まで参加できます。)

摂食嚥下訓練の教室

講師 田中靖代 ナーシングホーム 気の里 施設長

参加費:5,000円(当日払い)。演習参加者は別に1,500円(含む、材料費および資料費)、日々の暮らし・実践に役立てましょう。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

参加申し込み:件名を「食看護研究会参加申込」とし、①氏名②所属③連絡先(電話番号とメールアドレス)、演習参加の有無を2017年1月10日~1月31日まで moriya.haruyo@twmu.ac.jp へ。一般発表受付:一般発表は、示説のみとします。発表にあたっては、所属施設の倫理的承認を得ていることを明記し抄録原稿は、2016年12月11日(日)までに上記メール宛てお送りください。様式:A4・1枚(word 40字×35行 フォント:MS 明朝・10.5ポイント) 会場アクセス:最寄り駅 都営地下鉄大江戸線 牛込柳町もしくは若松河田 都営地下鉄新宿線 曙橋